

## 株主メモ

証券コード：3167

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
株主確定基準日	3月31日 なお、中間配当を実施するときの株主確定日は9月30日
1単元の株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	3167
株主名簿管理人	東京都港区芝3丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都港区芝3丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
郵送物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	☎0120-78-2031
同取次窓口	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
公告方法	当社のホームページ ( <a href="http://tokaiholdings.co.jp/ir/publicnotices/">http://tokaiholdings.co.jp/ir/publicnotices/</a> ) に掲載します。 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

- ・住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

## ホームページのご案内



<http://tokaiholdings.co.jp/>



グループ情報



投資家情報

TOKAIホールディングス

検索



うれしいをつなぐ。ひろげる。



TOKAIホールディングス

# 株主通信

# Business Report

株式会社TOKAI(第64期)  
株式会社ビック東海(第35期)

2010年4月1日から2011年3月31日まで

## トータルライフコンシェルジュ (TLC)構想のもと 持続的な発展を図ります。

代表取締役社長(CEO)

嶋田 勝彦



平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
まず、東日本大震災で被災された皆様にご心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い皆様のご復興を心よりお祈り申し上げます。

この度、株式会社TOKAIと株式会社ビック東海は、2011年4月1日付けにて、株式移転により両社の完全親会社となる株式会社TOKAIホールディングスを設立いたしました。

弊社グループは、創業60周年を一つの区切りとし、次なるステージを目指し、スタートいたしました。社会環境や顧客ニーズが急速に変化する中、常に創造力を研ぎ澄まし、時代の先を見据えたサービス展開を図っていきます。グループの234万件のお客様に対し、暮らしの中のあらゆるニーズに即した総合的な商品・サービスを提供する「トータルライフコンシェルジュ(TLC)」構想のもと、持続的な発展を図ります。更には、お客様、地域社会、地球環境とのつながりを深めながら、人々の豊かな生活や、地域社会の発展、地球環境保全に取り組んでいきます。

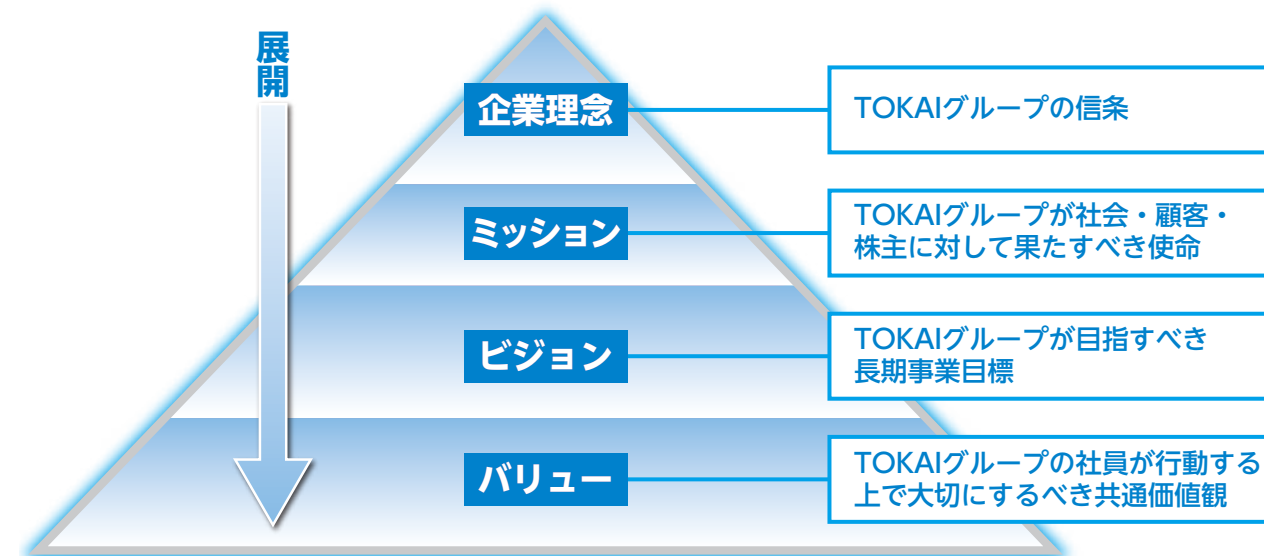
また、今年5月には新たな中期経営計画「Innovation Plan 2013」を発表しました。「事業の選択と集中」と「財務体質の改善」を最大のテーマに掲げ、新しいグループ体制へ変革します。「事業の選択と集中」では、ポートフォリオ経営の考えに基づき、各事業の位置付けを明確にし、経営資源の最適配分を行います。更に、効率的な組織へ事業再編し、統合シナジーの最大化や重複機能の解消と合理化を図り、利益拡大を追求します。一方、「財務体質の改善」では、リターン重視の投資に絞り込み、キャッシュを生むことを優先します。これにより、有利子負債を削減し、経営安定性の強化を図ります。

こうして、弊社グループは、新しい体制のもとにグループ一体となった経営を目指し、社員の能力及びグループの234万件という顧客力・総合力・機動力を最大限に発揮していきます。そして、すべてのステークホルダーとの信頼関係の強化に取り組み、企業価値を高めることで、皆様のご期待に応えてまいりたいと存じます。

皆様には、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## TOKAIグループは新しく生まれ変わります。

2011年4月、TOKAIグループは「企業理念」「ミッション」「ビジョン」「バリュー」の4層から成る「TOKAI-WAY」を理念体系として策定し共有することで、新たなスタートを踏み出しました。



### 企業理念

お客様の暮らしのために。地域とともに、地球とともに、成長・発展し続けます。

### ビジョン

全国展開から世界への持続的な歩みを通して、お客様の求める商品サービスをワンストップで提供するTLC（トータルライフコンシェルジュ）へ。

### ミッション

変革し、挑戦し、実現する。

### バリュー

ずっと、あなたとともに 笑顔と感動を。

- みんなをつなぐ コミュニケーションで。
- 安心・安全・充実を あなたのそばに。
- 心にいつも プロの熱意と誇りを持って。
- 地域と共に 未来につなぐ成長を。

TOKAI-WAYを実践できる人財育成と職場環境づくりを実現し続けます。

## ブランドスローガン

うれしいをつなぐ。ひろげる。

エネルギー、ICT、セキュリティ、ヘルスケア、ホスピタリティ、モビリティ、ファシリティ…。暮らしのさまざまな「うれしい」＝「安心・安全、便利・快適、喜び・生きがい」を、ひとりひとりのお客様につなぎ、地域社会、地球環境にひろげていきます。

## コーポレートマーク

「T」から光が斜め上に伸びてゆくTOKAIグループの新たなシンボル。右上の空間は未来を表し、TOKAIグループは常に未来に光を当てグループ各社それぞれの特徴を活かし、企業理念で掲げる「地域とともに、地球とともに、成長・発展し続けるグループ」であることを表現しています。

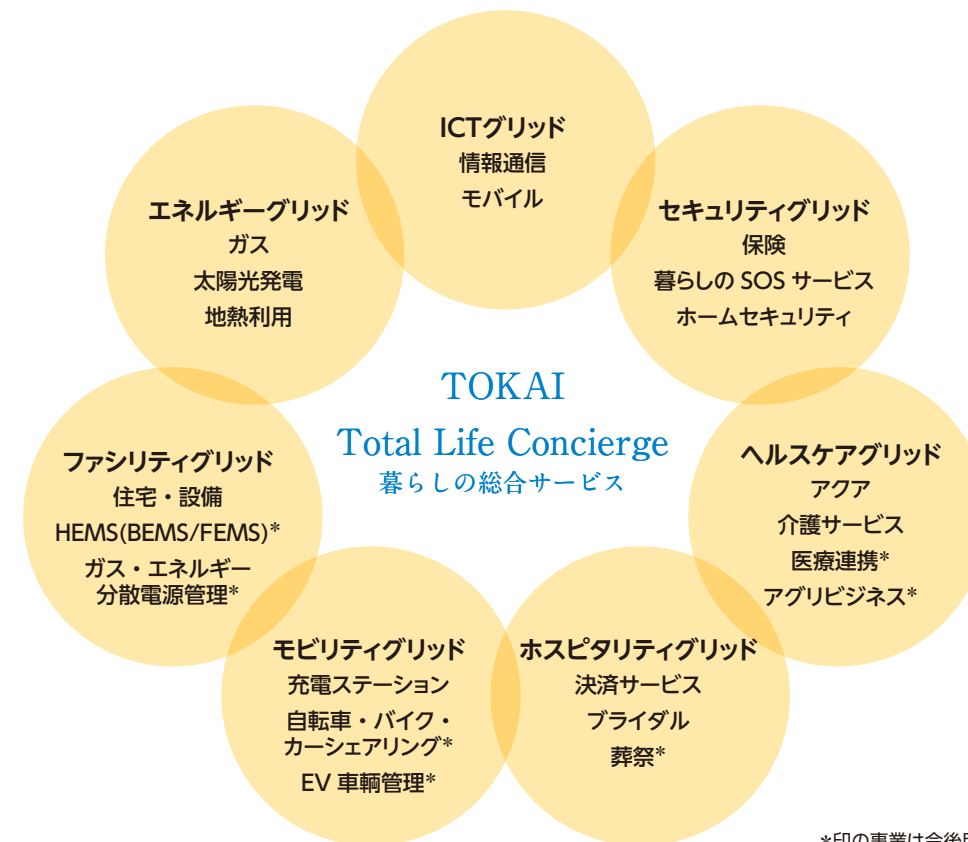
「T」と光の間に「O（円形）」があり、この「TO」は、TOKAIグループの「TO」でありながら、「お客様へ」「地域へ」「地球へ」という意味の「TO」も込められています。

ロゴの色であり、グループカラーに制定されたシナジーブルーは、青が空や海や川を連想することから、色彩心理学上、未来、希望、解放の色とされ、未来へ、世界へ伸びる、そして広がるTOKAIグループの願いを表しています。



## Total Life Concierge

— お客様のさまざまなニーズにワンストップでお応えします —

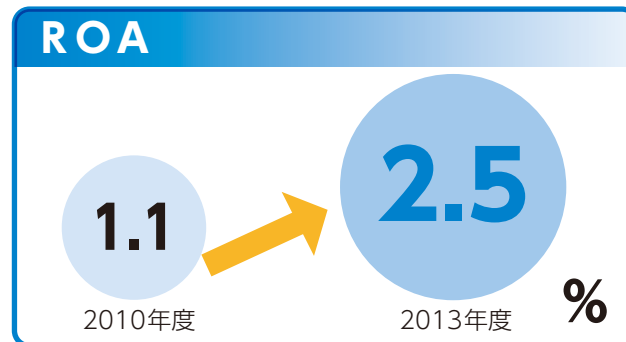
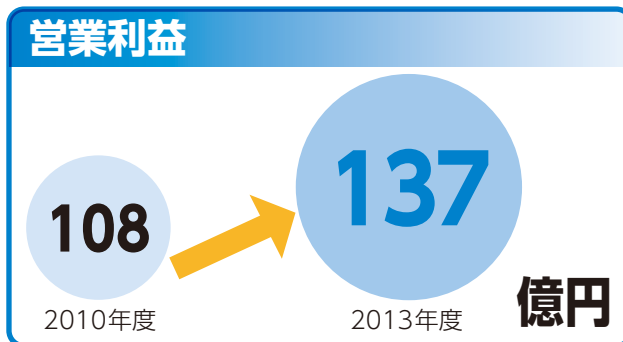
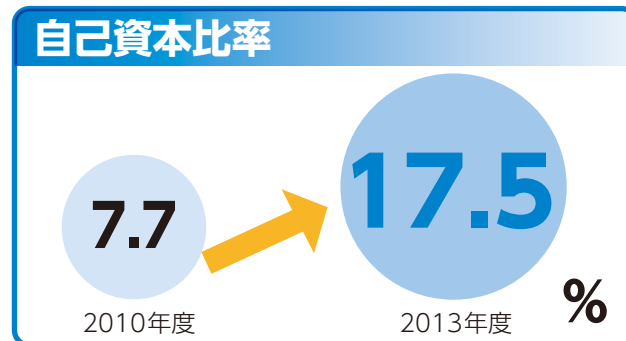
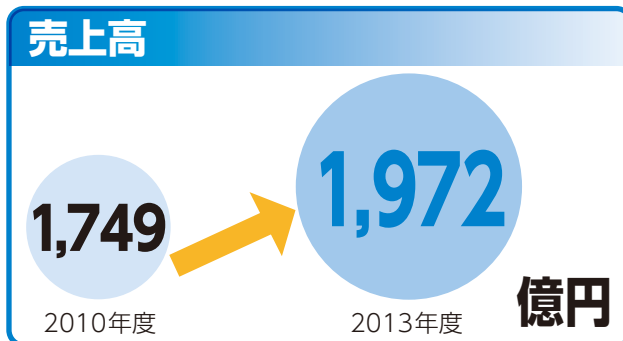
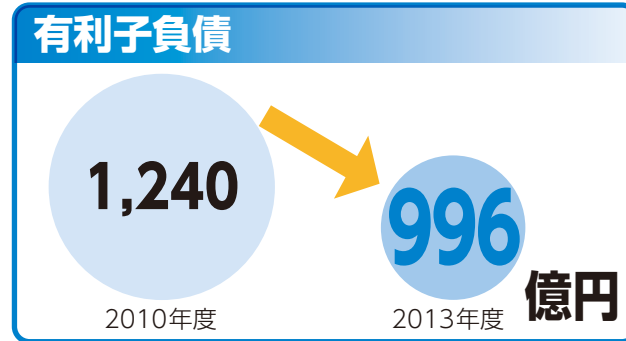
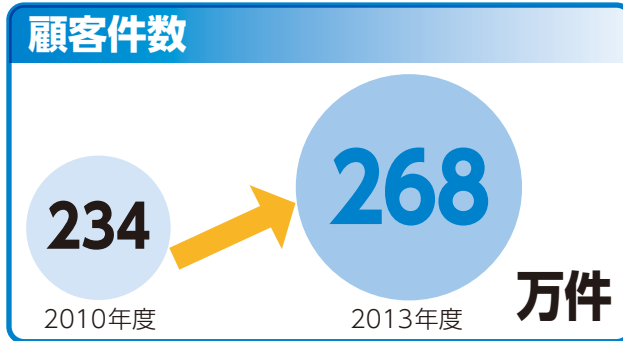


\*印の事業は今後目指す事業領域

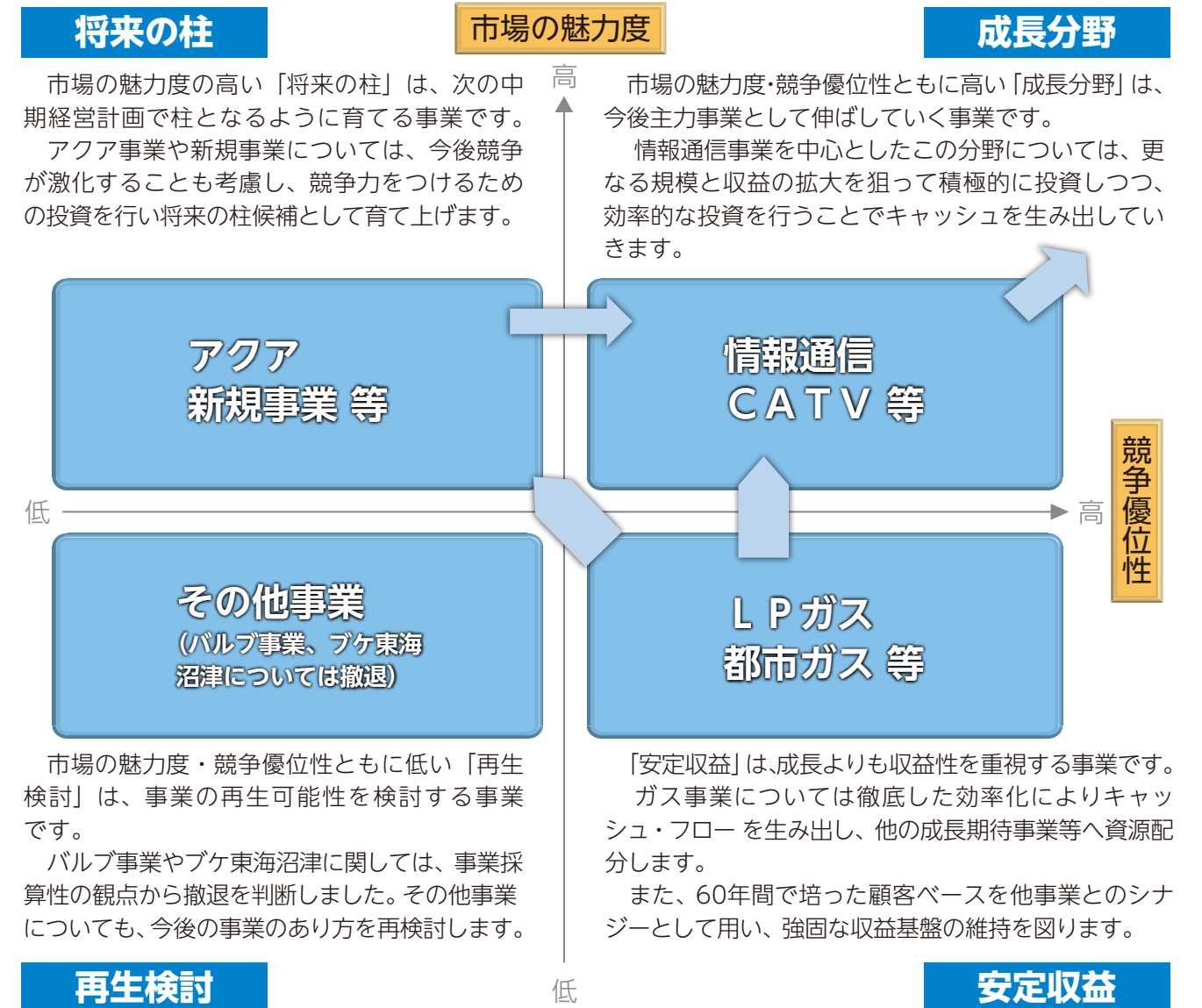
グループ共通のコミュニケーション・プラットフォームを構築  
(顧客管理基盤・課金システム等)

地域密着型の事業展開でお客様に安心・便利・快適をお届けします。

2011年5月、中期経営計画「Innovation Plan 2013」を発表しました。  
規模（顧客件数・売上・利益）の拡大を進めるとともに、財務体質の改善を実践します。



多岐にわたるグループの事業を、市場の魅力度と競争優位性の軸によって、「成長分野」、「安定収益」、「将来の柱」、「再生検討」の4象限の分野に位置付け、事業としての役割を明確化しました。

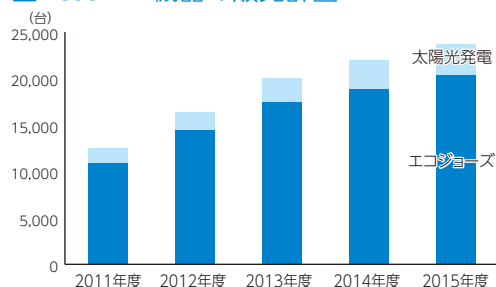


## ホームソリューション事業

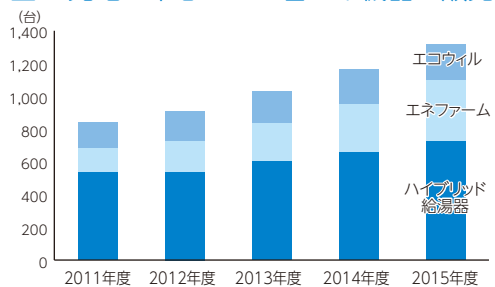
昨今の環境志向に加え、この度の東日本大震災の影響により、エネルギー利用に対する消費者意識は大きく変わりました。

当社グループでは、従来のガス機器販売に加え、太陽光発電や地中熱利用システム等の環境商品の販売にも注力し、エネルギーの安定供給及び地球環境保全を推進しています。ガスと電気を最適に組み合わせたエネルギーの“Best Mix”、更には省エネ・エコ・快適な住環境をまとめて提案するリフォームをも手がけ、ホームソリューションとしてお客様のニーズに応えていきます。中でも太陽光発電の販売においては、当社独自の10年間の日照補償サービス、メンテナンスを付加し、積極的に進めていきます。販売計画は、Best Mix機器、省エネ機器ともに5年間で倍増を目指します。

■Best Mix機器の販売計画



■W発電を中心とした省エネ機器の販売計画

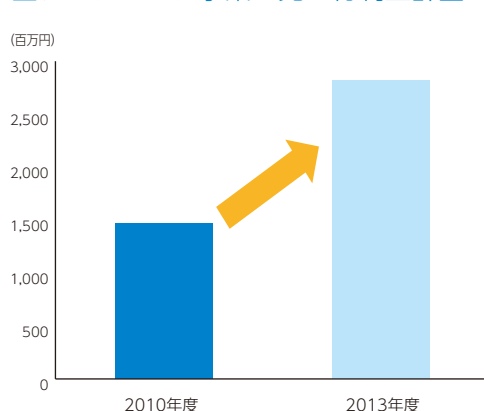


## データセンタ事業

国内データセンタアウトソーシング市場は、現在の8,300億円から2014年には1兆2,000億円へ急成長すると見込まれています。近年、社外システムを利用するクラウド化に対する理解が深まり、また震災をきっかけに、データセンタの重要性を再認識する企業が増えています。

このような中、当社グループは複数のデータセンタを保有し、ファイルサーバサービスや仮想プラットフォームサービスを提供しています。データセンタ+SIサービス+通信サービスを三位一体で提供できることを最大の強みに、担当SEによるきめ細かい対応等とも合わせて付加価値の高いソリューションを提供していきます。これらの強みを活かして2013年度には売上総利益を約2倍に成長させたいと考えています。

■データセンタ事業の売上総利益計画



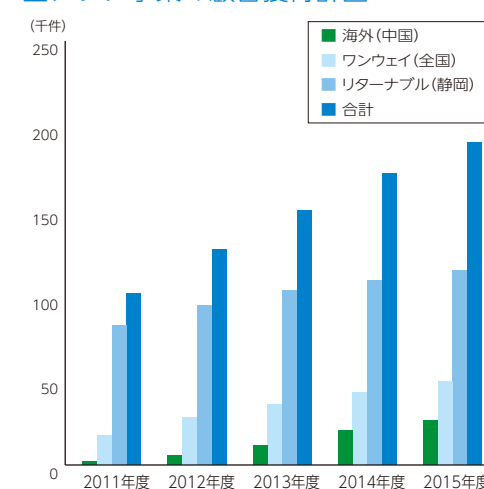
## アクア事業

水は暮らしの、生命の根幹とも言え、水の豊かな日本でも、より安全で美味しい水を求める声が高まっています。

当社グループは、富士山天然水の安定調達を事業のベースに、ガス事業で培った顧客接点や物流ノウハウを活かし、お客様のニーズに応えています。

2007年に静岡県内で事業を開始して以来3年半で約7万件のお客様にご利用いただいています。自社の工場及び配送網を構築し、きめ細やかなサービスを提供しています。また、今年3月には、ボトルの回収を必要としないワンウェイ方式による全国展開を開始し、2ヶ月で1万件強のお客様にご利用いただいています。更に、国内だけでなく、中国の富裕層向けへの提供に向けて4月に現地事務所を設立し、今後グローバル展開を図っていきます。

■アクア事業の顧客獲得計画



## 介護事業

現在、介護施設への入居待ちの高齢者は、全国で42万人、静岡でも1万人に上ると言われています。また、介護に至らずとも健康に不安を抱える高齢者の安心・安全に暮らしたいニーズや、高齢者のご家族や知人の抱えている不安も深刻です。

このような環境下、当社グループは、これまでガス事業で培った信頼性や情報通信技術、住宅建設部門等グループのノウハウを結集して介護関連サービスに取り組みます。

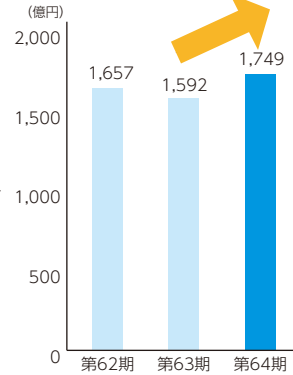
今後の計画としては、①今年4月に清水駒越にデイケア施設を開設しましたが、今後はショートステイ等を含めて2015年度末までに20施設に拡大します。②2013年度には高齢者専用マンションや高齢者向けのモール建設も着手予定です。③グループのお客様への介護用品等のレンタル/販売や、④情報通信技術を活かしたライフケア情報サービスも展開していきます。

■リフレア清水駒越



売上高

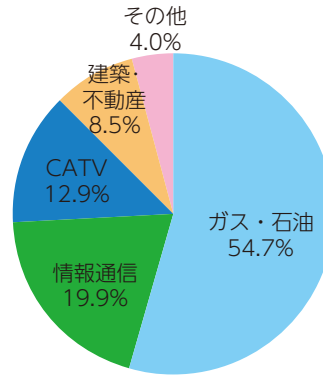
1,749億円



第62期以来の増収で、過去最高を更新しました。

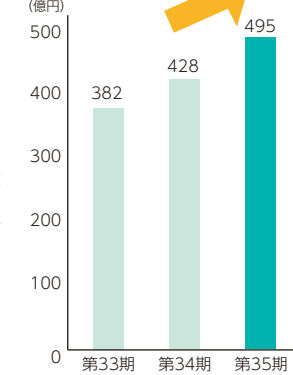
セグメント別売上高

LPガス販売数量増加やアクア・FTTH等の顧客件数の増加、葵タワーにおける不動産賃貸収入や婚礼催事収入、前期子会社化したエルシーバイ(株)、(株)倉敷ケーブルテレビの影響により、すべてのセグメントで増収となりました。



売上高

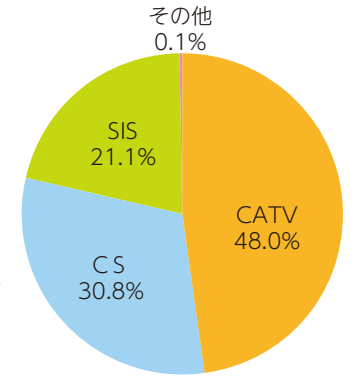
495億円



前期比2桁の増加率で、2005年10月の連結決算開始以来6年連続過去最高を更新しました。

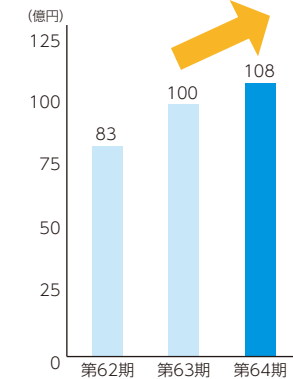
セグメント別売上高

前期に子会社化したエルシーバイ(株)、(株)倉敷ケーブルテレビの影響等により、CATVは大幅な増収となりました。CSはFTTH顧客の獲得が順調に推移し増収、SISは受注減少により減収となりました。



営業利益

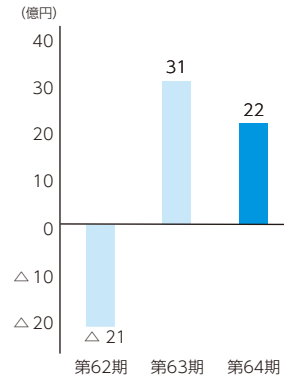
108億円



過去最高だった前期を上回り7億円の増益となりました (LPガス仕入コスト増加の影響を除くと実質19億円の増益となります)。

当期純利益

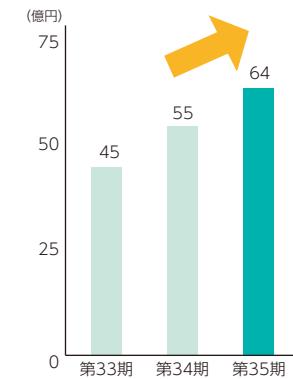
22億円



前期にて営業外費用に含まれていた先物運用益21億円の影響等により減益となりました。

営業利益

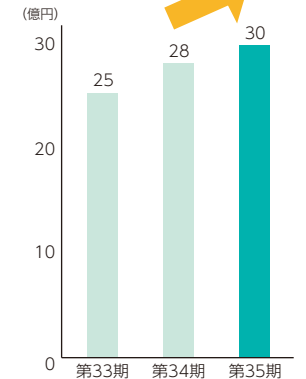
64億円



前期比2桁の増加率で、3期連続過去最高を更新しました。

当期純利益

30億円



営業利益と同様に、3期連続増益となりました。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		2011年 3月31日現在	2010年 3月31日現在
<b>(資産の部)</b>			
流動資産		49,744	51,236
固定資産		143,265	139,727
有形固定資産		110,613	107,778
無形固定資産		16,654	14,810
投資その他の資産		15,996	17,138
繰延資産		229	72
資産合計		193,239	191,036

(負債の部)

流動負債		89,783	96,682
固定負債		81,866	74,804
負債合計		171,650	171,487

(純資産の部)

株主資本		15,425	13,851
その他の包括利益累計額		△ 547	△ 51
新株予約権		278	112
少数株主持分		6,432	5,637
純資産合計		21,589	19,549
負債純資産合計		193,239	191,036

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		自 2010年4月1日 至 2011年3月31日	自 2009年4月1日 至 2010年3月31日
売上高		174,901	159,228
売上原価		107,455	95,880
売上総利益		67,445	63,347
販売費及び一般管理費		56,690	53,317
営業利益		10,755	10,029
営業外収益		973	3,266
営業外費用		2,240	2,472
経常利益		9,489	10,822
特別利益		265	130
特別損失		3,533	2,317
税金等調整前当期純利益		6,221	8,635
法人税等		3,015	4,546
少数株主損益調整前当期純利益		3,206	—
少数株主利益		1,054	1,008
当期純利益		2,152	3,080

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		自 2010年4月1日 至 2011年3月31日	自 2009年4月1日 至 2010年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		23,521	21,915
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 14,601	△ 25,665
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 11,278	7,253
現金及び現金同等物に係る換算差額		0	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△ 2,359	3,502
現金及び現金同等物の期首残高		10,501	6,998
現金及び現金同等物の期末残高		8,141	10,501

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		2011年 3月31日現在	2010年 3月31日現在
<b>(資産の部)</b>			
流動資産		11,304	9,964
固定資産		58,700	51,288
有形固定資産		47,185	42,699
無形固定資産		9,304	6,904
投資その他の資産		2,210	1,684
繰延資産		131	1
資産合計		70,135	61,255

(負債の部)

流動負債		28,366	27,999
固定負債		23,925	17,518
負債合計		52,291	45,517

(純資産の部)

株主資本		17,192	15,311
その他の包括利益累計額		18	27
新株予約権		29	11
少数株主持分		602	386
純資産合計		17,843	15,737
負債純資産合計		70,135	61,255

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		自 2010年4月1日 至 2011年3月31日	自 2009年4月1日 至 2010年3月31日
売上高		49,497	42,758
売上原価		28,057	24,842
売上総利益		21,439	17,915
販売費及び一般管理費		15,051	12,374
営業利益		6,388	5,540
営業外収益		70	49
営業外費用		514	355
経常利益		5,943	5,235
特別利益		256	154
特別損失		838	370
税金等調整前当期純利益		5,361	5,019
法人税等		2,310	2,169
少数株主損益調整前当期純利益		3,051	—
少数株主利益		77	34
当期純利益		2,974	2,815

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		自 2010年4月1日 至 2011年3月31日	自 2009年4月1日 至 2010年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		9,001	9,191
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 10,767	△ 13,155
財務活動によるキャッシュ・フロー		1,464	5,216
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△ 300	1,252
現金及び現金同等物の期首残高		2,768	1,515
現金及び現金同等物の期末残高		2,467	2,768

会社の概要

(2011年4月1日現在)

会社名	株式会社 TOKAIホールディングス
設立	2011年4月1日
資本金	140億円
従業員	連結 4,022名 (2011年3月31日現在)
事業内容	エネルギー事業、情報通信事業等を行う子会社等の経営管理及びそれに付帯又は関連する業務
証券コード	3167
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部

役員	(2011年6月27日現在)			
取締役	代表取締役社長 (CEO) 鴫田 勝彦	社外取締役	小林 憲一	
	代表取締役副社長 西郷 正男	社外取締役	鈴木 健一郎	
	取締役専務執行役員 真室 孝教			
	取締役常務執行役員 村松 邦美	監査役	常勤監査役 望月 廣	
	取締役常務執行役員 鈴木 光速		社外監査役 瀬下 明	
	取締役常務執行役員 溝口 英嗣		社外監査役 立石 健二	
	取締役 (非常勤) 藪崎 正義		社外監査役 雨貝 二郎	
	取締役 (非常勤) 福田 安広			

株式の状況

(2011年4月1日現在)

会社が発行する株式の総数	300,000,000株	株主数	8,132名
発行済株式総数	155,199,977株	【参考】 TOKAI	5,263名
1単元の株式数	100株	ビック東海	3,321名
		(2011年3月31日現在)	

株主様アンケートのお願い

今後のIR活動の参考にさせていただきたく、2011年8月末までにアンケートにご協力のほどお願い申し上げます。  
 同封の回答用ハガキに質問へのご回答を記入いただき、ポストへご投函下さい (切手は不要です)。  
 なお、本アンケートは当社ディスクロージャーの充実以外の目的に利用することはありません。  
 また、ご回答いただいた方の中から抽選で1,000名様に粗品 (500円相当) を進呈いたします。  
 (当選者の発表は、9月の発送をもって代えさせていただきます)

株式会社TOKAIホールディングス

静岡県静岡市葵区常磐町2-6-8

株式会社 TOKAI

静岡県静岡市葵区常磐町2-6-8

株式会社ビック東海

静岡県静岡市葵区常磐町2-6-8

東海ガス株式会社

静岡県焼津市塩津74-3

● 株式会社ブケ東海沼津

静岡県沼津市寿町7-37

● 株式会社ブケ東海三島

静岡県三島市梅名393-1

● 株式会社ブケ東海御殿場

静岡県御殿場市東田中1505-3

● 東海造船運輸株式会社

静岡県焼津市小川3899-4

● トーカイシティサービス株式会社

静岡県静岡市葵区紺屋町17-1

● TOKAIライフプラス株式会社

静岡県静岡市葵区常磐町2-6-8

● 株式会社いちほらコミュニティー・ネットワーク・テレビ

千葉県市原市五井中央東2-23-18

● 厚木伊勢原ケーブルネットワーク株式会社

神奈川県厚木市岡田3050

● 熊谷ケーブルテレビ株式会社

埼玉県熊谷市原島380

● 株式会社イースト・コミュニケーションズ

千葉県千葉市緑区あすみが丘1-20-1

● エルシーバイ株式会社

長野県諏訪市大字四賀821

● 株式会社倉敷ケーブルテレビ

岡山県倉敷市中島2661-1

● 株式会社ドリームウェーブ静岡

静岡県静岡市清水区中之郷2-1-5